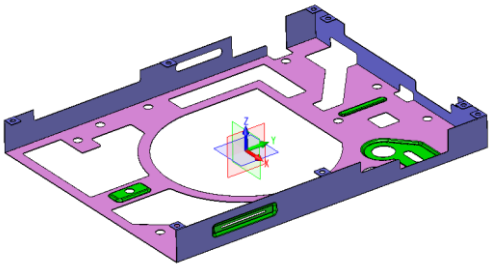
ZW3D™

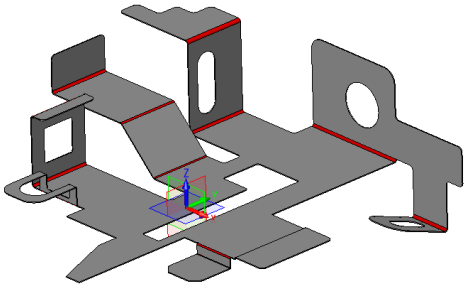
セルフ・トレーニング 2016

板金モデルの展開

このトレーニングでは外部で作成されたデータをインポートし、曲げ属性を付加することで平面展開する、基本的な操作理解を目的としています。

例題





本資料は以下のセルフ・トレーニングが完了していることを前提としています。

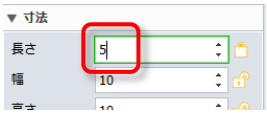
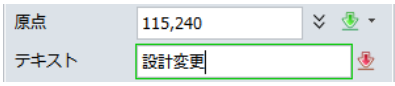
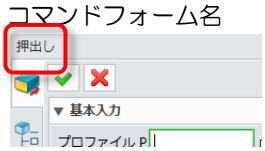
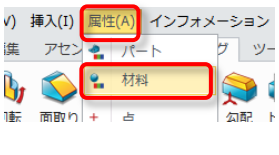
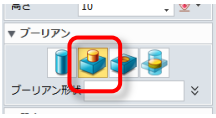
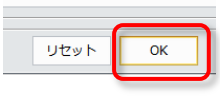
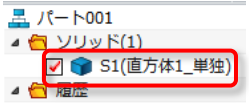
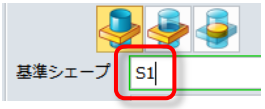
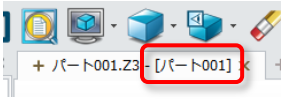
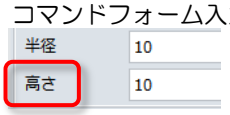
・UI&操作の基本

基本操作

株式会社 実践マシンウェア

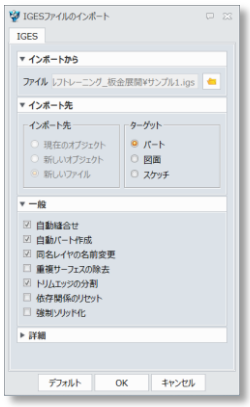
表記規則について

操作説明等で表記されている内容については以下のとおりとなります。

表記例	内容
クリック	マウス左クリックします。
マウス中クリック	マウス中クリック(ホイール)をクリックします。
マウス右クリック	マウス右クリックします。
スクロール	マウス中のホイールを回転させます。
「5」	コマンドフォーム内への数値入力 
「設計変更」	コマンドフォーム内への文字入力 
“サンプル.igs”	ファイル名
「押出し」	コマンドフォーム名 
[計測]-[距離] [属性]-[材料]	アイコンまたは日本語メニュー(リボンタブ名-アイコン名)(メニュー名) 
[和]	コマンドフォーム内のアイコン 
<OK> <キャンセル>	コマンドフォーム内のボタン 
“S1” “(2)” “パート001”	要素名や要素数、オブジェクト名など   
[高さ] または 高さ：	コマンドフォーム入力欄名 

例題１

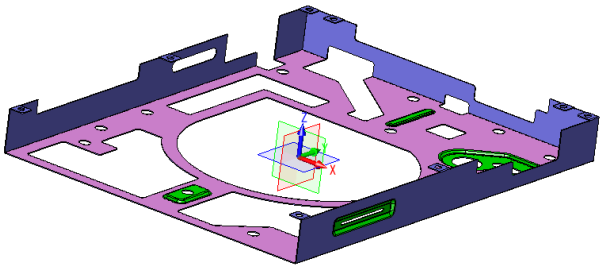
1 データをインポート

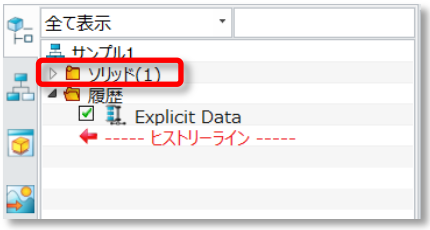


［ファイル］-［インポート］をクリックします。
サンプル1.igsを選択し、<開く>をクリックします。

「IGESインポートファイル」フォームが表示されます。
デフォルト設定のまま、<OK>をクリックします。

ファイルのインポートが開始されます。
以下図のように表示されます。
マネージャーに「ソリッド(1)」と表示されていることを確認してください。

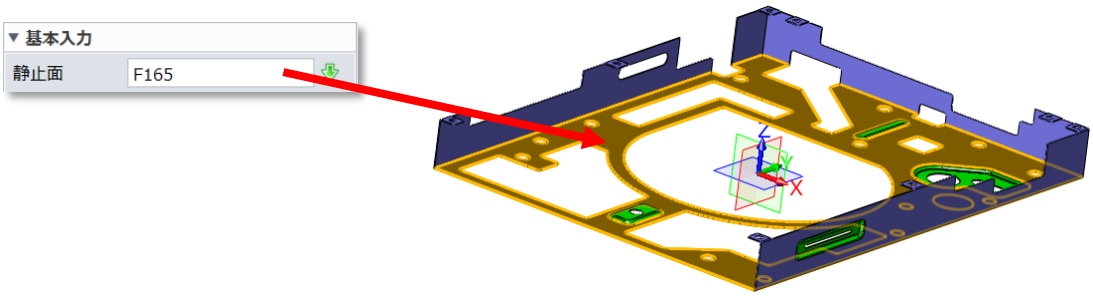




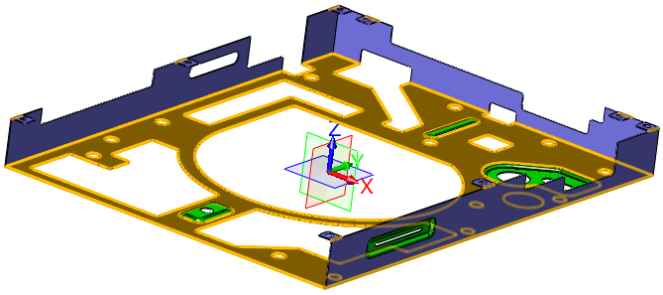
2 展開するフェースに、曲げ属性（Kファクタ）を付加

［板金］-［属性付加(曲げ)］ をクリックします。

静止面：　ピンクのフェース



静止面を選択後、**〈全ての曲げを検出〉** クリックすると、自動的に曲げフェースが検出されます。**[曲げフェース]**が**[14個]**となっていることを確認して、〈OK〉をクリックします。



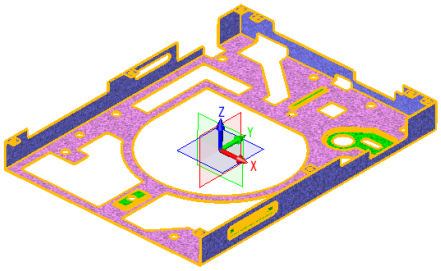
Note

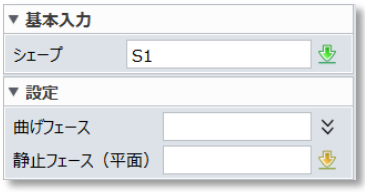
- Kファクタは曲げ部の展開長を算出する位置を示します。この値は内曲げフェースを基準としています。Kファクタが0の場合の中立軸は内側フェースとなり、Kファクタ1の場合は外側フェースになります。

3 展開

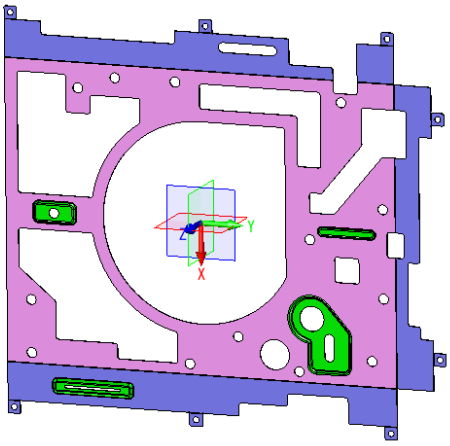
[板金]-[展開] を選択します。

シェープの選択では、モデル形状をマウス左で選択します。



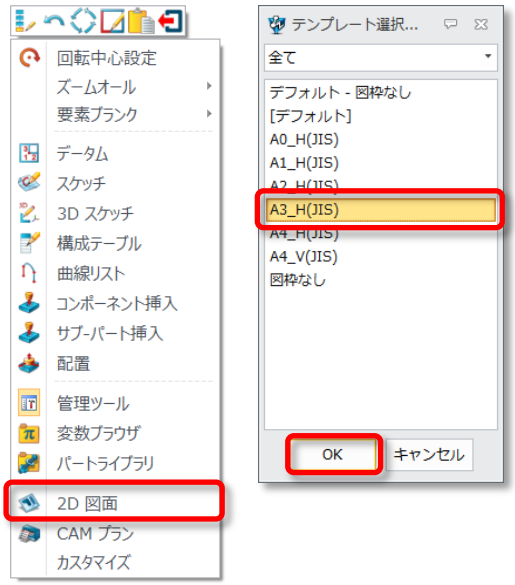


モデル全てが黄色にハイライトされ、シェープに“S1”と選択されたシェープ番号が表示されます。
〈OK〉を押して展開します。

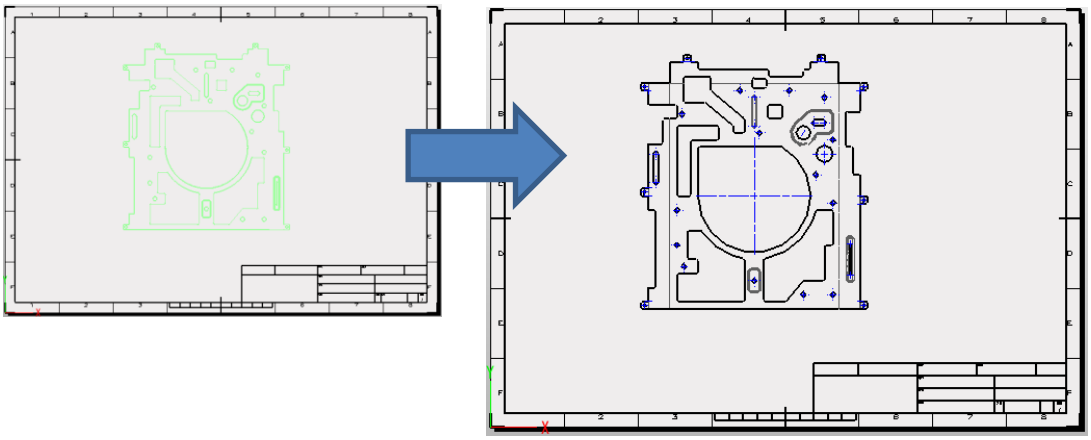


4 図面を作成

グラフィックウィンドゥ上でマウス右クリックをすると、以下のポップアップメニュが表示されます。
「2D　図面」を選択してください。
テンプレートのA3(H)を選択して、〈OK〉をクリックしてください。

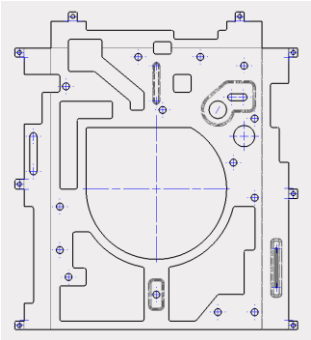


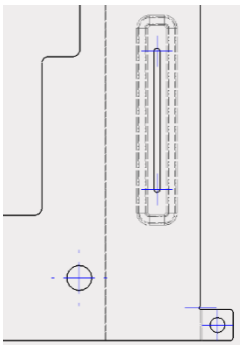
画面が切り替わり、下図のようなプレビュー状態になります。
平面図として中央に配置します。



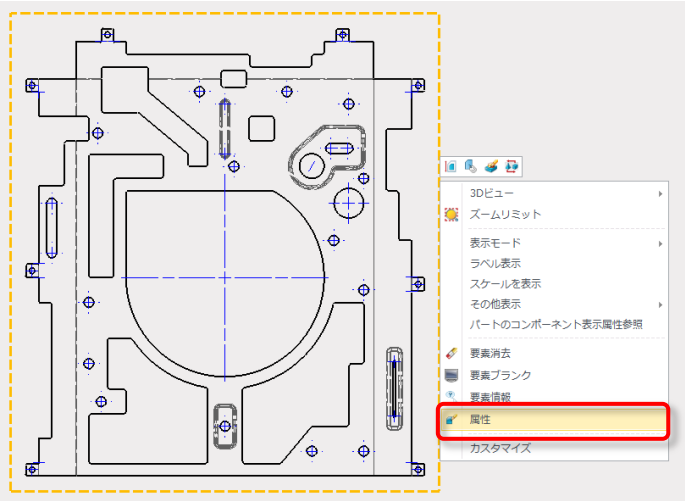
5 曲げ線を表示

通常、下図のように、図面投影した図には隠線や想像線が表示されています。
これらを線を非表示にし、曲げ線のみを表示します。

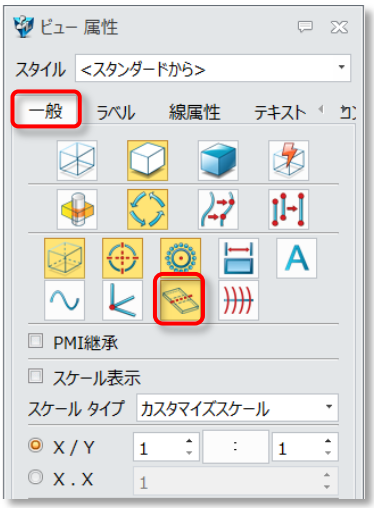


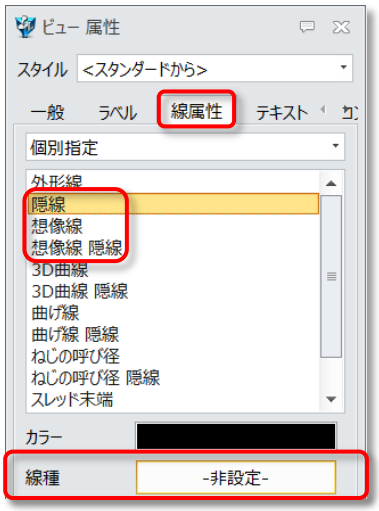


投影図外周付近にマウスポインタを近づけると、ビューの枠が破線表示されます。
この状態でマウス右クリックし、メニューより**[属性]**をクリックします。

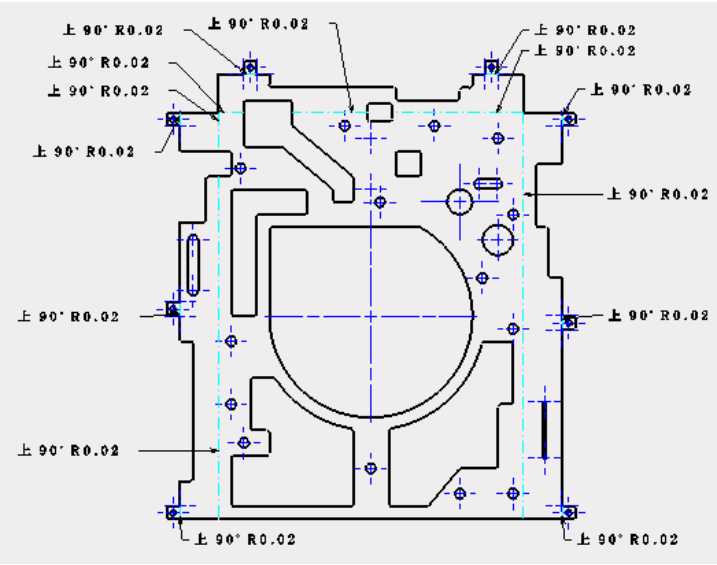


「ビュー属性」フォームの「一般」にある**[板金の曲げ線を表示]**をアクティブにします。
つづいて、「線属性」の**[隠線]**、**[想像線]**、**[想像線隠線]**の3つに対して、線種を**[非設定]**にします。





オプションフォーム最下部にある
<OK>をクリックし、投影図が確定されます。



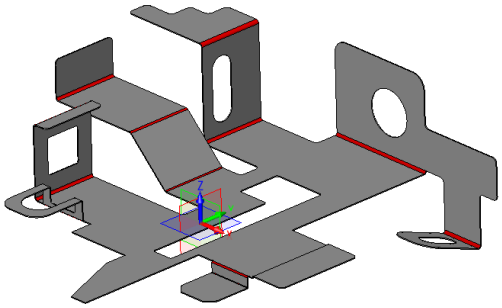
例題2

1 サンプル2.igesをインポート

[ファイル]-[インポート]をクリックします。
サンプル2.igsを選択し、<開く>をクリックします。

「IGESインポートファイル」フォームが表示されます。
デフォルト設定のまま、<OK>をクリックします。

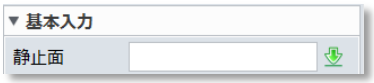
ファイルのインポートが開始されます。
以下図のように表示されます。
マネージャーに「ソリッド(1)」と表示されていることを確認してください。



2 曲げ属性を付加

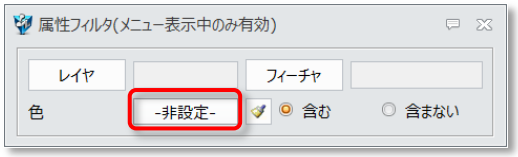
[板金]-[属性付加(曲げ)] を選択します。

静止面：マウス中クリックでデフォルト選択を確定

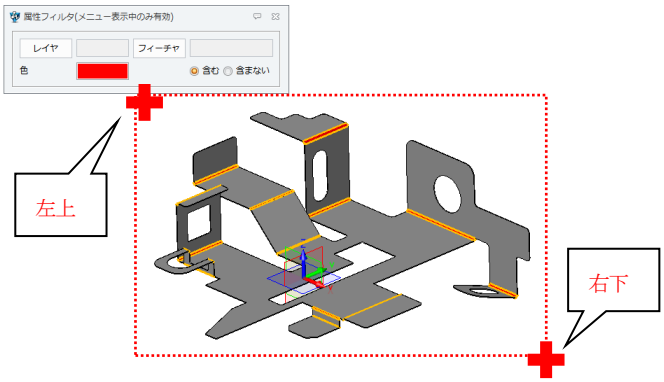


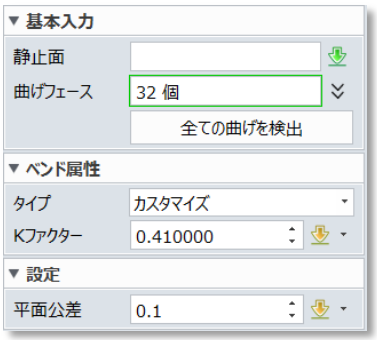
ピックツールバーの[属性フィルタ]を選択します。

属性フィルタメニューが表示されますので、カラーの〈ー非設定ー〉を選択します。
曲げ属性を指定するフェースの色を選択します。（この例では、赤です）



グラフィックウィンドウの形状がすべて入る領域の左上から右下をマウスでドラッグします。その領域内でフェースが赤の面が32個選択されます。





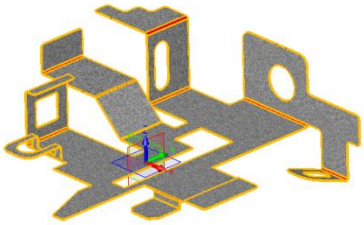
Kファクタを入力し、OKを押すと、赤いフェースに曲げ属性が付加されます。

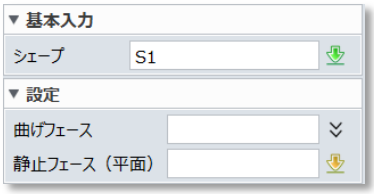
- 曲げ属性を付加するフェースは曲げ部の内側フェースまたは外側フェースどちらか一つ選択されていればOKです。上記方法では、内側および外側全てを選択しています。

3 展開

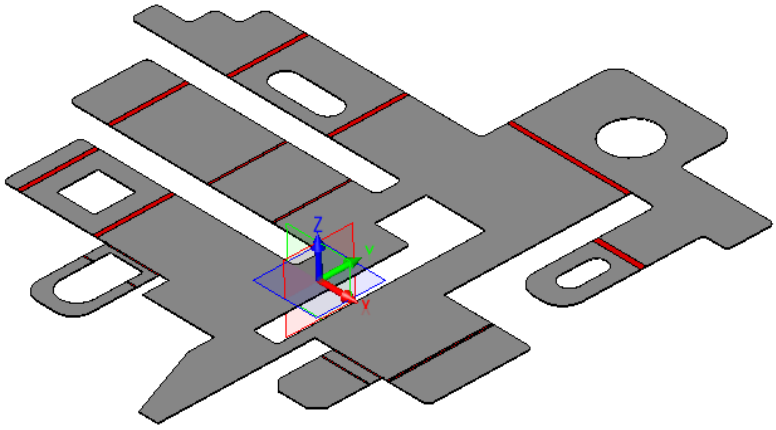
[板金]-[展開] を選択します。

シェープの選択では、モデル形状をマウス左で選択します。





モデル全てが黄色にハイライトされ、シェープに“S1”と選択されたシェープ番号が表示されます。
〈OK〉を押して展開します。



セルフ・トレーニングガイド　板金展開を終了しました。

本書の著作権は、全て㈱実践マシンウェアに所属します。
本書の一部、または全てを無断で複写転載することはご遠慮下さい。
本書の内容は、製品改良などにより予告なく変更することがあります。

ZW3D2016　セルフ・トレーニング　板金展開

20160520

株式会社実践マシンウェア